

持続的な成長を実現するための CSR重要課題とCSR目標

当社グループが目指すCSRの実現に向けて、CSR重要課題の特定とCSR目標を定めアプローチしています。

CSR重要課題は、サステナビリティ経営に向けて取り組まなければならないと認識した社会課題へのアプローチであり、経営課題と捉えております。そのため、各課題を各部門の業務計画へ落とし込み、業務として遂行しております。

CSR重要課題

	関連するSDGs	重要課題	アプローチ	中期目標 (2025年度)	2024年度実行計画	2023年度実績	
環境 E	7 気候変動 9 産業と資源効率 12 つくば地球 12 つくば地球	カーボンニュートラルの実現	CO ₂ 排出量の削減	電力の再生可能エネルギー化率72% 製造プロセスの改革・改善により生産効率15%改善	徳島工場にてカーボンニュートラルな都市ガスの調達を開始 削減計画に沿った改善策の実行によりCO ₂ 排出量607t-CO ₂ 削減	電力の再生可能エネルギー化率48% CO ₂ 排出量約35.0%削減 (2013年度比較)	
		製品のバイオマス化推進	製品のバイオマス化推進	石化由来原料割合60%未満	石化由来原料からバイオマス原料への置換に向けた検討および研究開発の推進	100%バイオマス由来新製品2シリーズを開発 ・リカナチュラ® (化粧品原料向けエモリエント剤) ・エヌジェルブ® (工業用潤滑基剤向けエステル油)	
		資源(水・燃料)の有効利用	廃棄物量の削減・再資源化量の増加 水使用量の削減	外部委託処理の廃棄物量削減 再資源化率の継続的改善 水資源の効率的で適切な利用	工程改善等による産業廃棄物発生量の低減検討 焼却炉管理の適正化による廃棄物処理の効率化 DX推進による紙(記録紙、手順書など)使用量の削減 排水処理システムおよび廃水設備の導入検討	設備更新により回収可能な工業用水の再利用率向上 廃棄物の自社処理を進め外部委託処理量を削減 水使用量実績3,211千㎡ (前年度比2.2%削減) 排水系統の見直しによる廃水量削減の検討	
		人・環境にやさしい製品の拡充	環境負荷低減に貢献する製品の開発・販売促進	環境負荷低減製品の売上数量の向上	環境負荷低減製品の販売促進 ・グリーンサイザー® (バイオマス可塑剤) ・リカナチュラ® (化粧品原料向けエモリエント剤) ・エヌジェルブ® (工業用潤滑基剤向けエステル油) ・RiKACRYSTA® (結晶化促進剤) 環境負荷低減に繋がる製品の開発	環境負荷低減製品の開発および販売促進 ・RiKACRYSTA® (結晶化促進剤) 開発: 生分解性プラスチックへの展開に向け効能評価を実施 販売: 日用品雑貨向けの採用が決定	
社会 S	5 ジェンダー平等 8 働きがい 12 つくば地球	人権の尊重	人権を尊重する企業風土の醸成 人権侵害を防止する仕組みづくり	ハラスメント防止教育の実施(1回以上/年) 内部通報制度をはじめとした相談窓口の充実	ハラスメント防止教育の実施 内部通報制度をはじめとした相談窓口の定期的な周知	コンプライアンスクイズの定期配信によるコンプライアンス教育 / 全従業員対象コンプライアンス研修の実施 / ハラスメント研修の実施およびハラスメント関連の相談窓口の設置とイントラネットへの掲載 内部通報制度をはじめとした各種相談窓口の設置とイントラネットへの掲載 内部通報制度ポスターの掲示	
		多様な人材の育成と確保	人事評価制度改革 人材育成の充実 中途採用による多様化の促進 管理職に占める女性割合の増加	SPICE人材の育成・発掘 チャレンジを促す仕組みづくりと積極的な支援の実施 — 女性管理職割合7%以上	管理職評価を年度評価に変更し方針管理を強化 行動・能力評価における着眼点の明確化 等級定義に合わせた階層別研修の企画 リーダーに求められる行動指針の明確化 異業種キャリア人材の採用拡大 キャリア形成支援および育成	人事制度改革に則して昇格審査を厳格化 年次再雇用者の活躍を促す職務評価を導入 選択型研修の受講数向上のアプローチ / 生産に特化した育成教育の実施 / 次世代リーダーに向けた人材育成 / 部署長を対象とした方針管理研修の実施 中途採用割合41.4% 管理職に占める女性比率7.0%	
		安全で働きやすい職場づくり	健康経営の推進 安心安全操業(ゼロ災害、ゼロ労災) ワークライフバランスの推進 活力ある職場づくり	健康診断受診率100% 再検査受診率80%以上 保健指導およびカウンセリング受診率100% 喫煙者率20%以下 有給取得日12日以上/年 トラブル発生件数15件以下/年、再発事例ゼロ 安全教育の実施1回以上/年 男性育休取得率100% 改善提案応募2件以上/人 従業員アンケートにて、「仕事にやりがいを感じている」と回答する人の割合80%以上	年2回の健康診断実施および結果のフォロー 保健指導(特定保健指導等)、メンタルヘルス面談の計画的な実施 禁煙の推進および支援 特定保健指導の実施 有給を取得できる環境づくりの推進(業務適正化など)により年10日以上の取得を目指す 化学物質の有害性・危険性、作業に関するリスクアセスメントの強化 KY活動指導の強化 / 安全衛生教育の実施 育休取得に対する職場理解を促す啓発活動の実施 育休ミーティングシートを活用した対象者と会社との丁寧なコミュニケーションにより男性育休取得率向上を目指す 改善提案応募1件以上/人 ワークエンゲージメント観測の継続	年2回の健康診断実施および結果のフォロー 保健指導(特定保健指導等)、メンタルヘルス面談の計画的な実施 禁煙の推進および支援 特定保健指導の実施 有給を取得できる環境づくりの推進(業務適正化など)により年10日以上の取得を目指す 化学物質の有害性・危険性、作業に関するリスクアセスメントの強化 KY活動指導の強化 / 安全衛生教育の実施 育休取得に対する職場理解を促す啓発活動の実施 育休ミーティングシートを活用した対象者と会社との丁寧なコミュニケーションにより男性育休取得率向上を目指す 改善提案応募1件以上/人 ワークエンゲージメント観測の継続	健康診断受診率100% 特定保健指導受診率43.5% 保健師による保健指導面談の実施 / 計画的なメンタルヘルス面談の実施 / 健康に関する社内相談窓口の開設 年2回の禁煙デーを定め、禁煙の呼びかけを実施 / 保健師による禁煙支援を実施 / 喫煙者率18.9% 目標達成率99.4% ・入社1~6年目までの取得目標: 付与日数の1/2以上 ・入社7年目以上の取得目標: 10日以上 トラブル発生件数46件 KY活動指導の実施 / 各事業所で防災訓練を実施 男性育休取得率70.0% 育児・介護に関するセミナーの実施 介護に関するアンケートの実施 改善提案応募 490件/年、1.4件/人(グループ会社含む) ワークエンゲージメントの定点観測を実施 「仕事にやりがいを感じている」と回答した人の割合74.6%
		サプライチェーンマネジメント	CSR調達の推進 原料調達のBCP構築	CSR調達の構築 原料調達のBCP構築	CSR調達の方針を明示し、サプライヤーへ展開 ホワイト物流の推進 サプライチェーンリスク調査 / 原料の複数購買化の推進 2024年問題をはじめとした物流課題についての対応策を継続的に検討 積極的な地域交流を図り、事業所のある地域との関係強化を進める	CSR調達の方針を明示し、サプライヤーへ展開 ホワイト物流の推進 サプライチェーンリスク調査 / 原料の複数購買化の推進 2024年問題をはじめとした物流課題についての対応策を継続的に検討 積極的な地域交流を図り、事業所のある地域との関係強化を進める	— サプライチェーンリスク調査 / 原料の複数購買化の推進 2024年問題をはじめとした物流課題についての対応策を継続的に検討 京都R&Dセンターに地域の中学生を招いた実験教室を開催
		地域活性化への貢献	地域社会との積極的な関わりを促進	継続的な地域社会との交流による関係強化	機関投資家とのIR面談の実施	機関投資家とのIR面談の実施	機関投資家の要請によるIR面談の実施3件
		ステークホルダーエンゲージメントの実践	ステークホルダーとの対話の促進 開示情報の充実	投資家向け説明会・個別ミーティングの充実 統合報告書の発行	Web決算説明会の実施 / CSR報告書の内容の充実	Web決算説明会の実施 / CSR報告書の内容の充実	Web決算説明会の実施(2回/年) / CSR報告書2023の発行
		リスクマネジメントの徹底	リスクマネジメント体制の構築	リスク管理のPDCAサイクルの確立と継続的改善	全社的リスクマネジメント体制の整備とリスク戦略の策定	全社的リスクマネジメント体制の整備とリスク戦略の策定	コンプライアンス委員会開催(1回/年) / 危機対応のルール・フロー策定
		迅速果敢な意思決定を支えるガバナンスの構築	取締役会の実効性の向上 役員報酬制度の見直し	実効性評価を通じたPDCAサイクルの確立 企業価値向上に資するインセンティブ報酬の導入	取締役会の実行性評価アンケートの実施による取締役会機能の向上 指名・報酬諮問委員会の開催	取締役会の実行性評価アンケートの実施による取締役会機能の向上 指名・報酬諮問委員会の開催	取締役会の実行性評価アンケートを実施し、その内容について取締役会で議論 指名・報酬諮問委員会の開催(4回/年)
		企業統治 G	12 つくば地球 16 働きがい				

CSR中期目標(2025年度)

環境・社会・人(命)に関わる課題に果敢にチャレンジし、価値創造企業を目指す。

2024年度CSR目標

持続可能について考える

スピード!やり切る!全員参加!